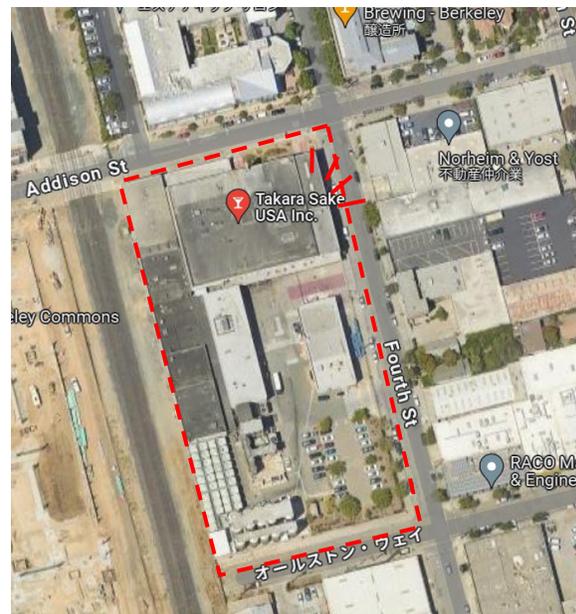


2024年2月、ウイスキー樽・ワイン樽の仕事でケンタッキーやナパバレーに出張したのですが、その際に「宝USA」と「大関USA」を訪問、工場を見せていただきました。宝USAは2013年にも訪問させていただいたので2度目、大関USAは初めての訪問です。工場内の写真を掲載するわけにはいかないので、公開されている情報・公開可能な範囲の情報でこのレポートを作成します。

- 左の地図は、サンフランシスコ地区・サンノゼ地区で現在稼働しているサケ醸造所。宝USAと大関USA以外に、クラフトサケが2社あります。同じくCA州にある月桂冠USAとYaegakiは、この地図の範囲には入りません。
- 下の航空写真は、同じ縮尺のGoogleで見た両社の工場。どちらも相当な広さと規模です。



なお、アメリカの三大Sake製造者は「宝USA」「大関USA」と「米国月桂冠」です。「米国月桂冠」は、コロナ前の2019年に訪問した記録があります↓

<https://www.kitasangyo.com/pdf/archive/sake-watching/ca.usa.pdf>



## 基本データ：「宝USA・Takara Sake USA Inc.」 2023年=40周年

- 創業：1983年 1977年に沼野武嗣が「ヌmano・サケ・カンパニー」をつくった。それを1982年に買収して、1983年にTakara Sake USA Inc.に社名変更。2023年で創業40周年となった。
- 場所：サンフランシスコの対岸、バークレー。有名なUCバークレー（大学）から近い。サンフランシスコ空港から車でベイブリッジを渡り（混んでいなければ）40分ほど。ちなみに、ヌmano・サケ・カンパニーの前は乳製品の工場だった場所だそう。
- 銘柄、製品：「松竹梅・Sho Chiku Bai」のほか、「フレーバードSake」や「にごりSake」各種。みりんも製造。清酒では、沼野の銘柄「甲州正宗」、1986年に買収したホノルル酒造製氷の銘柄「宝正宗」も継続生産。（「宝正宗」は、Honolulu Sake Brewing Co., Ltd. Barkleyの会社名で販売。なお、沼野の次の銘柄「カリフォルニア生一本」は、八重垣USAの銘柄になっている）750や1.5Lなどのガラスびん詰のほか、キュービ製品も多い。
- 製造規模：2022年7,830KL=4.35万石（「酒類食品統計月報」による）アメリカのサケ生産者で最大規模。4万石超は、日本の2022年清酒蔵元ランキングで10位程度に相当、という規模感。
- 日本人スタッフ：藤原社長さんほか多数。現地在住の日本人スタッフも。多くの皆さんにご挨拶できてよかったです。
- ボトリングライン：イタリア製など。ニゴリ製品の充填は別ラインになっている。
- 使用するキャップ（ヘンな項目ですみません。当社がキャップメーカーなので）：現地キャップメーカーからの調達＋一部は日本製キャップ（当社ほか）

**SAKE BREWING COMPANIES IN THE U.S.A.**

From the late 1970s to the early 1990s, Japan's major sake companies established business here, hoping to market sake to the increasing Japanese business population. Influenced by the health food boom of the 1980s, sake, along with Japanese food, has also gained enormous popularity among many Americans. As of 1998, seven sake brewing companies operate in the United States, and all are located in the West. This is due to the fact that over the years, California has become a prime rice growing state. In addition, the West provides not only an ideal climate, but also excellent water sources from the Sierra Nevada Mountains, the Coast Range and the Rocky Mountains.

**Japan American Beverage**

**松竹梅**

**月桂冠**

**白鹿**

**白山**

**大関**

**American Pacific Rim**

**白鶴**



- 当社、きた産業のキャップをご使用いただいている宝USAの製品。Nigoriシリーズは売れ筋であるそう。左から、マンゴ、ライチ、ストロベリー、ホワイトピーチ。
  - 40周年記念酒は「バーボンバレル貯蔵」。ちなみに30周年記念酒は下記の6ページ。
- <https://www.kitasangyo.com/pdf/archive/sake-watching/ca.usa.pdf>



- テースティングルームの奥の「Takara Sake Museum=サケ博物館」にある、近代史を物語る地図。コロラドの白鹿(1992-2000年)と、ナパの白山(1989-2003年)は今はない。American Pacific Rimは八重垣USAに、Japan American BeverageはSakéOne（白鶴が全株を取得）になっている。
- サケ博物館には、ホノルル酒造の創業のころの写真、江戸時代の酒造用具の実物など、貴重な展示物が多い。



## 基本データ：「大関USA・Ozeki Sake U.S.A. Inc.」 2024年=45周年

- 創業：1979年。サンベニート社（ワインの会社）、キッコーマン、JFCとの共同出資で「Ozaki San Benito」として設立。その後、1984年にサンベニート社が抜けて現社名に。2024年で創業45周年。アメリカで現在操業中のSake生産者で最古。
- 場所：サンノゼの南南東70kmほどのホリスター。サンフランシスコ空港から車で1時間半。ホリスターに会社があるのは、サンベニート社の所在地であったことに由来する。当初は今の敷地の東半分だけを使っていたが、事業拡張に伴い西半分にあったサンベニートの敷地も使うようになって、今に至る。（注：サンベニートは地域名でもある。San Benito County（郡）の郡都がホリスター）
- 銘柄、製品：「大関・Ozeki」。キッコーマン向けに「マンジョウみりん」も製造。750や1.5Lなどのガラスびん詰のほか、大容量バッグインボックス製品も多い。アメリカの一部ではカップ酒に人気があるが、「ワンカップ大関」はアメリカでは生産していない。キャップの开封方式は安全性も改良されて日本ではスタンダードだが、アメリカでなじみが少ないので若干の懸念があるのかもしれない。
- 製造規模：2022年4,238KL=2.35万石（「酒類食品統計月報」による） アメリカのサケ生産者で3位。（2位は米国月桂冠で、6,247KL=3.47万石） 2.35万石は、日本の2022年清酒蔵元ランキングで15位程度に相当。
- 日本人スタッフ：小川社長さん以下4名。現地在住の日本人スタッフも。皆さんありがとうございました。
- ボトリングライン：日本のShibuya製など
- キャップ：現地キャップメーカーから調達（アメリカ製のPP30S-日本と同規格のPPキャップがあるのは初めて知りました）



- 手前に並ぶのが主な製品。後ろの棚は、日本産・米国産の他社製品を含めたコレクションが並ぶ。ビジターのためのテースティングルームはないが、ぜひ作ってほしい。
- ご案内いただいた小川社長さんほか日本からの3名の写真を撮らせていただきました。ありがとうございました。
- 大関USAでは自社精米機で精米を行っている。（宝USA、米国月桂冠には精米機がない。精米済みの米を購入。）原料米は、カリフォルニア米を使用。近年、カリフォルニアやアーカンソーで山田錦を栽培しているが、大関USAでは「山田錦は日本産であるべき」という認識のもと、アメリカ産山田錦は使用していない。（宝USA、米国月桂冠はアメリカ産の山田錦を使用した製品がある。）



## 関連観察 <数字で見るアメリカのSaké市場の10年の変化>

比較項目	2013年	2023年	10年の変化	資料出所・備考
アメリカの日本食レストランの数	1.7万店	2.86万店*	1.7倍	農林水産省、2年に一度の公表 ※2023年は2021年の3.12万店から8%減少
アメリカのSaké工場の数	5	6	1.2倍	2023年から獺祭NY工場が稼働
アメリカのCraft Saké醸造所の数	4	25	6.3倍	きた産業
(参考) アメリカのCraft Beer醸造所の数	2,852	9,552*	3.3倍	Brewers Association ※2023年が未公表のため2022年の数字
(参考) 日本の清酒醸造場の数	1,652	1,536*	7%減	国税庁、酒税関係総括表の清酒製造場数 ※2023年度が未公表のため2022(R4)年度の数字

A. 日本からアメリカへの清酒輸出货量	2.49万石	3.61万石*	1.4倍	財務省貿易統計 ※2023年は2022年の5.05万石から28%減少
B. アメリカで製造されたSakéの量 (推定)	10.3万石	12.3万石	1.2倍	業界情報から推定
C. アメリカ製造のうち国外に輸出されたSakéの量 (推定)	0.5万石	1.0万石	2倍	業界情報から推定 カナダ、ドイツ、韓国、ブラジルなどへ輸出される
A+B-C=D アメリカ国内市場のSakéのマーケットサイズ	12.3万石	14.9万石	1.2倍	
アメリカSaké市場における日本製Sakéのシェア (A/D)	20%	24%	+4ポイント	
アメリカSaké市場における米国製Sakéのシェア (1-A/D)	80%	76%	-4ポイント	

日本からアメリカへの輸出された清酒の1.8L単価	1,553円	2,517円	1.6倍	財務省貿易統計、統計表示はFOB価格
日本円の対US\$の為替レート	97.73 円/USD	140.67 円/USD	44%の円安	三菱UFJ、暦年平均TTM

■ 「KL」表示ではピンとこないほうで、いまだに「石」表示ですみません。



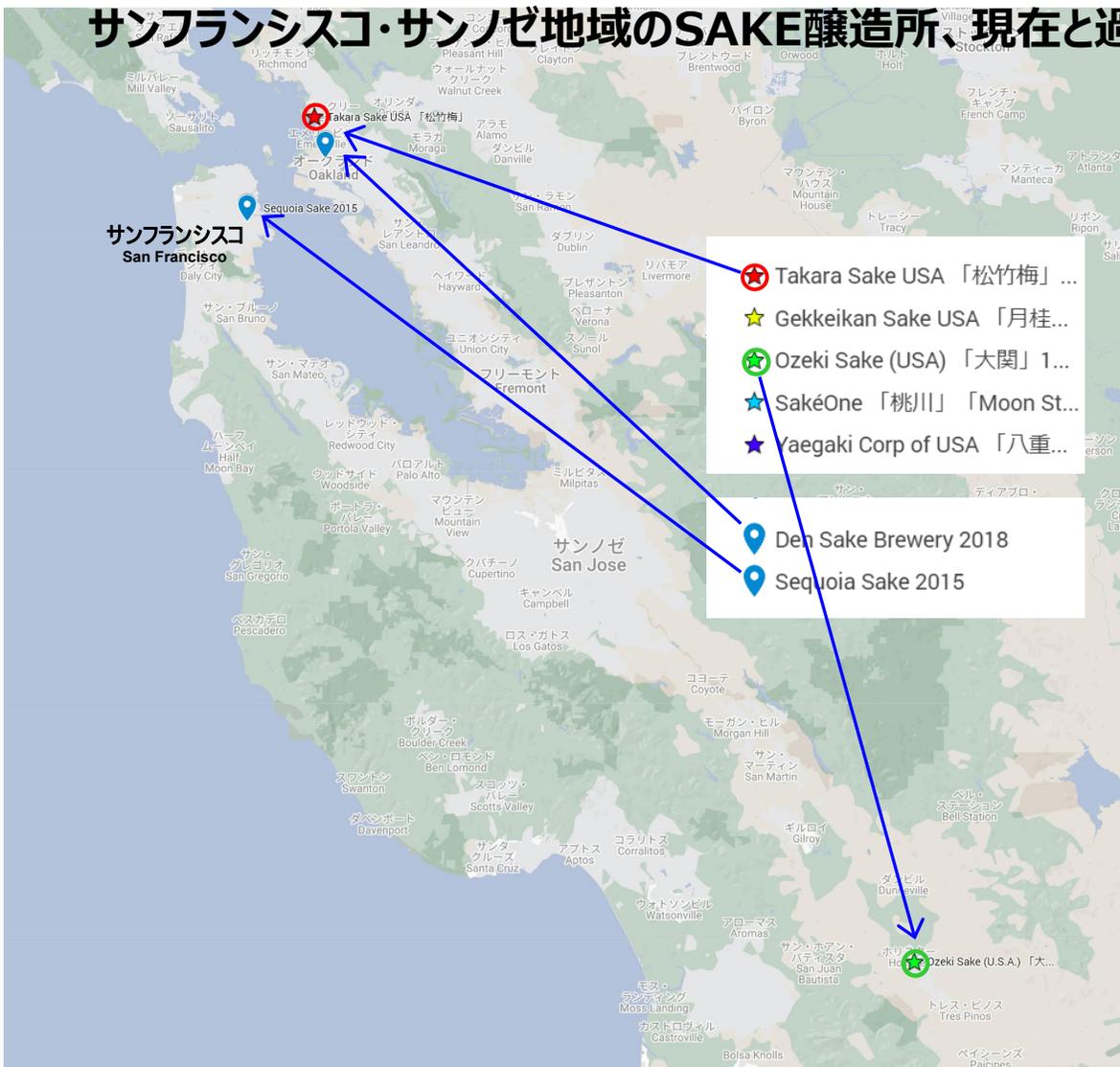
日本に持ち帰ったお酒を飲んでみた



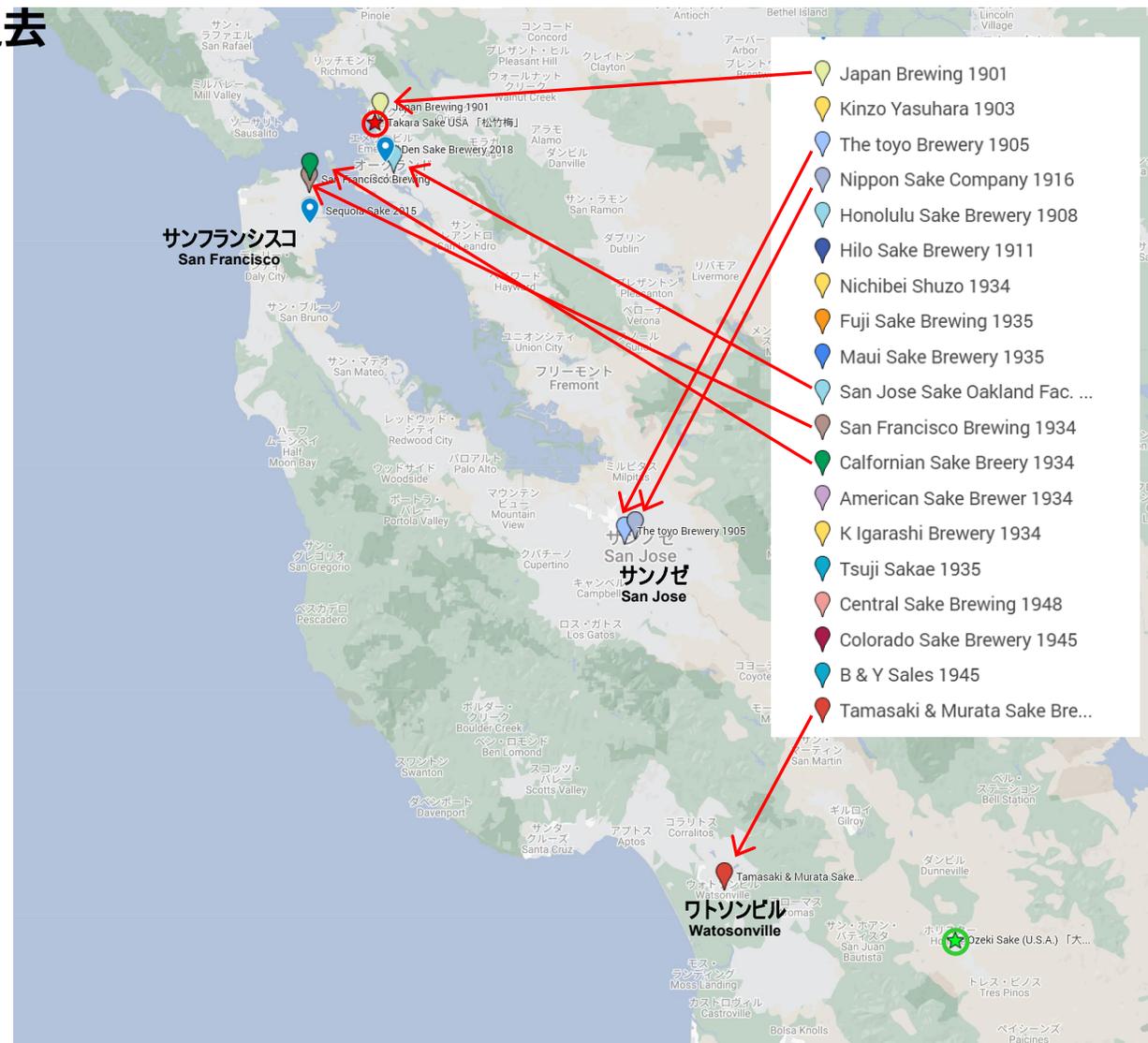
- いただいたお酒を日本に持ち帰り、自宅で賞味させていただいたの図。左上から反時計周りに、、、
- 宝さんの「Yuki Nigori White Peach」。よく振ってから開栓せよ、の注意書き。「にごり」と「フレーバー」が良くマッチするのは驚き。おいしい。日本で売れば、「漉」と同じくらい売れそうに思った。
- 大関さんの純米大吟醸「Platinum」。表ラベルは権入れしている製造責任者の堀江さん（前ページ写真の中央の方）。これは出色の出来栄え、immaculateなsakeでした。日本で売ってもらいたい一本。
- なお、大関には裏ラベル右肩に「マルにK」のマーク、宝にも（写真では見にくい表ラベルに）「マルにU」のマークがある。これらはユダヤ教の定めに合わせているという、コーシャ認定のマーク。
- Brewery Twenty Fiveのクラフトビール。大関の製品ではないが、焙煎した大関USAのコメ麴を使用、というビール。UmamiとSmokyさを感じる味わい、すっきりした喉ごし。
- （特別参加）カナダ・バンクーバーのArtisanSakeMakerから届いた限定酒。2024年の日系アメリカ人会の新年会で提供された記念ラベル。ラベルは日本人移民の及川甚三郎で、1899年ごろ、カナダ初のサケを作った方。QRコード参照。及川さんら日本人移民の集落と工場があった島の名前を、かつての通称、「Oikawa Island」にしよう、という運動があるそう。



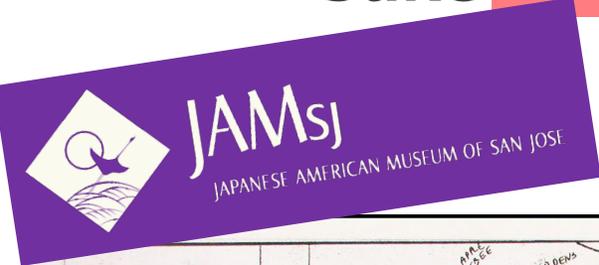
## サンフランシスコ・サンノゼ地域のSAKE醸造所、現在と過去



■ 現在のサケ醸造所。1ページ目に掲載したものと同一。

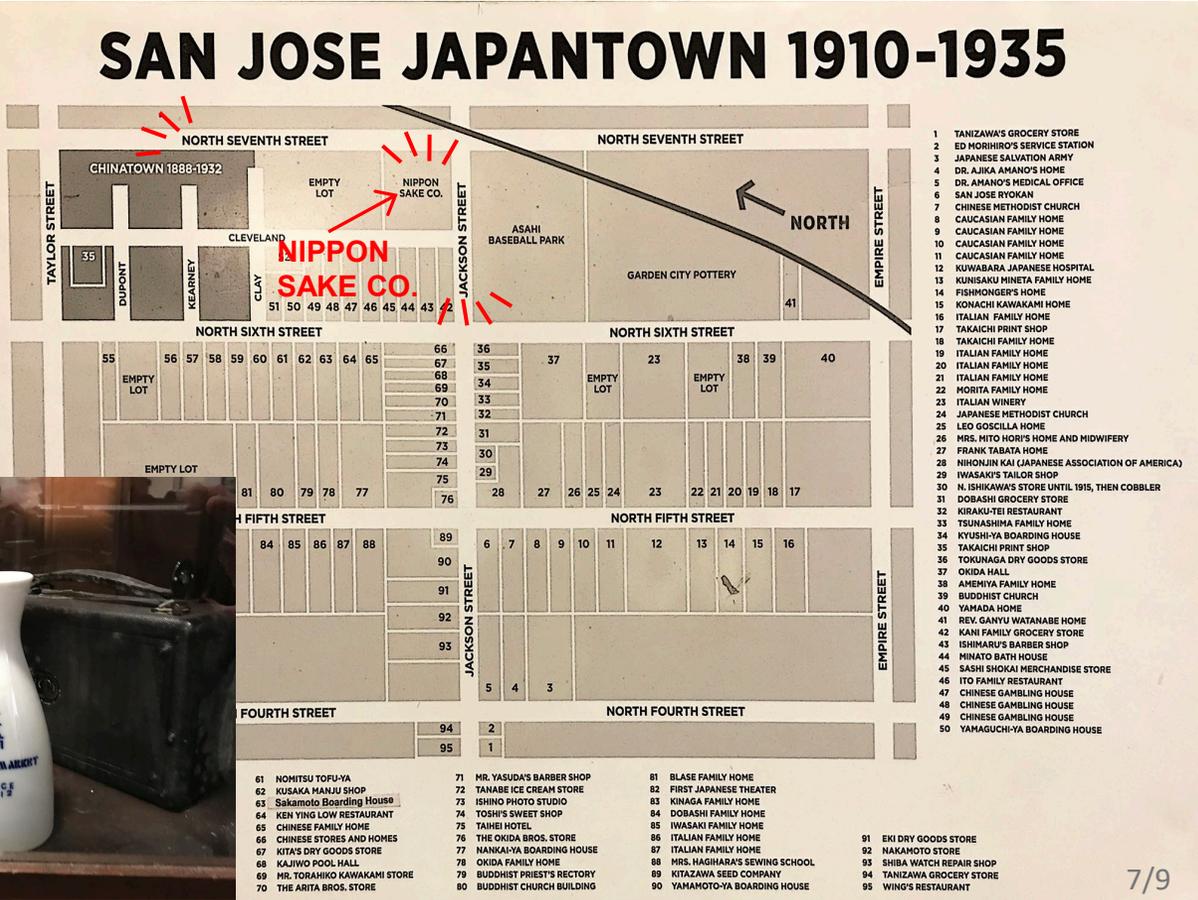
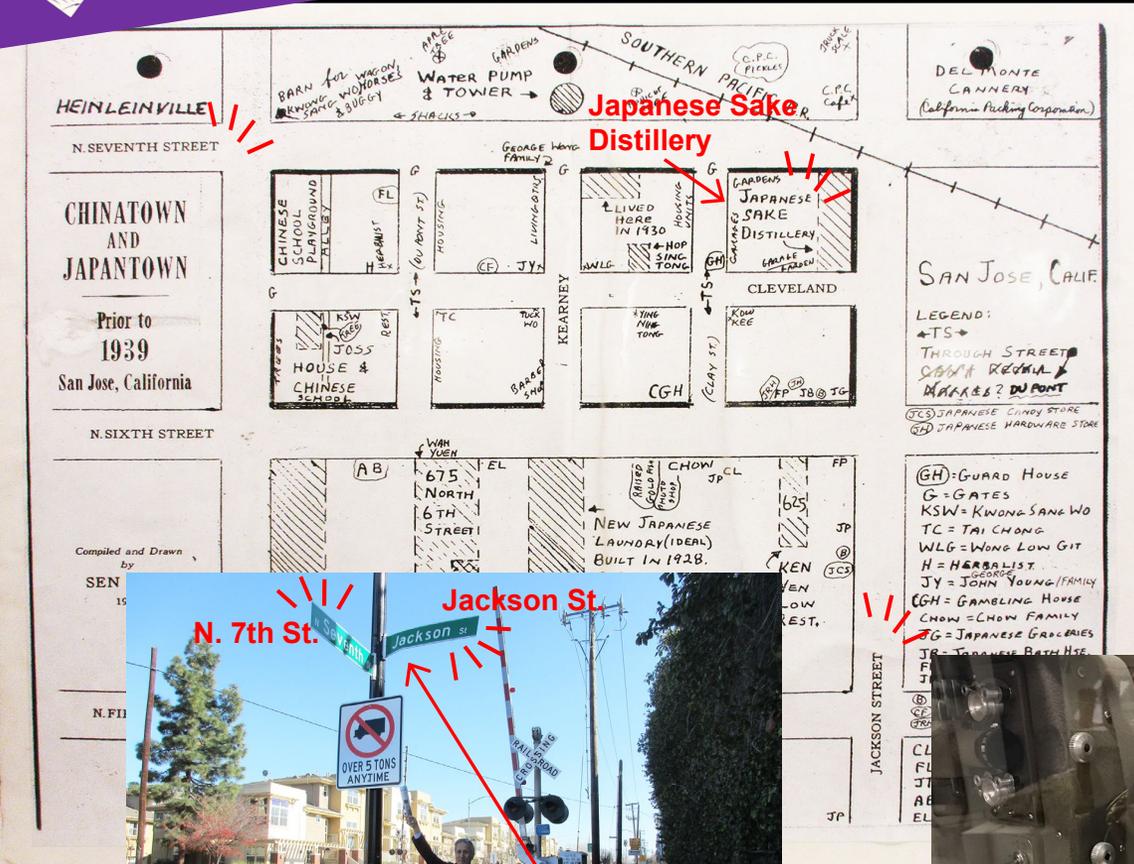


■ 左と同じ版図で、ある程度住所が特定できる、かつて戦前から戦後に存在したSake醸造所にピンを立てたもの。サンフランシスコ近郊には4つ、サンノゼには2つ、ワトソンビルに1つ。実際にはもっとあった。  
 ■ 多くは日本人町の中に設立されたもの。地図では離れて見える街、ワトソンビル（赤色のピン）にもかつて日本人町があった。



# 「サンノゼ日系 アメリカ人博物館」にて

- サンノゼは大きな都市。今もジャパントウンがあるが、その一角に「Japanese American Museum of San Jose・サンノゼ日系アメリカ人博物館」がある。大関USAに向かう途中、立ち寄ってみた。
- 展示してあった戦前のサンノゼの日本人街の地図、2枚。どちらの地図にも、N 7th St.とJackson St.の角に、日本酒製造所の表示。この会社はNippon Sake Co.という会社だった。
- 手書き地図のほうは「Japanese Sake Distillery」とある。Distillery=蒸溜所。最終ページに期しているパーグレーのJapan Brewingも、当時の電話帳やディレクトリーにはDistilleryと書かれている。Sakéは醸造することはわかってはいたはずだが、課税区分の関係だったのかもしれない。
- (左下) 実際に、現在のN 7th St.とJackson St.の角に行ってみたが、もちろん何もない。しかし、かつてここで日本人移民が清酒を醸造していたと思うと感慨ひとしお。
- 徳利の「土橋」というのは、日本人町でデロサリーストアを経営していた方のような。



80~100年ほど前、  
清酒製造所があった場所。





## 「サンノゼ、及びその近郊」で設立されたSAKE醸造所リスト

場所 location	社名* company name	存在期間、 あるいは、 清酒製造期 間 existing years	存在時期 existing period ◎ = 現在営業 operating				実際の住所 (判明してい る場合のみ) actual address	代表者 (判明して いる場合の み) representa tive	銘柄 (判明してい る場合のみ) brand name	備考 notes
			禁酒法ま で before Prohibition	禁酒法後 ～戦前 after Prohibition to WWII	戦後 after WWII	1970年 代～現在 1970s up to now				
San Jose CA サンノゼ、CA州	★Sugita bros. あるいは J. Sugita (AB) 杉田清酒醸造所(AD) は、Kawaguchi & Iida Sake Brewery (AU, AB) または The Toyo Sake Brewery Co. 東洋精酒醸造所 (AD) に引き継がれた	1905～1908年 (AB) 1908年～1915年頃 (AU)	●				569 Taylor Street, San Jose (OT) のちに、663 North 5th Street, San Jose (AD)	杉田善三 飯田國蔵 田川甚六 河口吉助	「養老正宗」 「東洋自慢」	アメリカで 3 番目に古いサケ醸造所 図 8、ならびに本文参照
Watsonville CA ワトソンビル、CA州	★Tamasaki & Murata Sake Brewery (タマサキ・ムラタ サケ醸造) (AU, AB)	1907年 には存在 (AB)	●							ワトソンビルはサンノゼの南の街
San Jose CA サンノゼ、CA州	★ Nippon Sake Company (日本酒会社)	1916年～ 廃業年不 明	●				Jackson St.と Seventh St.の 角 291, Jackson St.		「喜楽正宗」 「国宝正宗」	(AU, AD)
San Jose CA サンノゼ、CA州	★ K. Hayashi Sake Brewery (K ハヤシ サケ醸造)	1916年 には存在	●							(AU, AB)
San Jose CA サンノゼ、CA州	★ San Jose Sake Brewery (サンノゼ酒醸造所 サンノゼ酒造株式会社)(AD)は、Nippon Sake Brewery (日本酒醸造所) に引き継がれた (AB)	1934年～ 1935年 1935年～ 1940年		●			291 Jackson Street と 7th Street の交差点の北側角 (AU)		「白菊」	1916年に存在した Nippon Sake Company と同一住所なので、禁酒法後に復活したと考えられる。NJの外国会員に「サンノゼ、大竹一貫」の名前が記載されている 大竹はサンノゼ酒醸造所が日本酒醸造所の可能性が高い
San Jose CA サンノゼ、CA	★鶴田合資会社 (Tsuruta Goshi Kaisya)	1934年 には存在		●			472 San Jose			NJの外国会員の「酒類醸造業の部」に社名がある 住所は名簿記載のもの
Hollister CA ホリスター、CA州	Ozeki Sake U.S.A. Inc. 大関 USA	1979年～ 現在				◎	249 Hillcrest Road Hollister, CA	オーナー： 大関	「大関」	キッコーマン、JFC、サンベントと、オーゼキサンベント社として設立。84年サンベントが離脱し現社名に

- 前ページのNippon Sake Co.という会社はこの会社。N 7th St.とJackson St.の角、という住所が一致する。禁酒法で廃業したが、禁酒法終了後に再開したようだ。禁酒法以前は「喜楽正宗」「国宝正宗」、禁酒法終了後は「白菊」というブランドだった。
- 禁酒法以前は、Taylor St. やN4th St. (日本人町があった通りの名称。前ページの地図に書かれている) でも清酒造りをした人がいた。ただ、前ページの地図がつけられた時点では廃業していたのだろう。
- ワトソンビルの所在地は不明だが、たぶん日本人町があった地区 (Main St.と Union St.のあたり) に存在したと考える。

出所：「酒史研究」第32号2017年（酒史学会誌）に発表した「北米におけるサケ醸造の歴史ーアメリカとカナダに存在したすべてのサケ醸造所のリストアップ」（喜多常夫）の表から、該当地域のものを抜粋、一部をアップデート。ロサンゼルス近郊、ハワイ、その他の地域など、北米全体のオリジナルのリストは以下で閲覧可能。

[https://kitasangyo.com/pdf/archive/sake-info/Sake\\_in\\_America\\_1901-2017.pdf](https://kitasangyo.com/pdf/archive/sake-info/Sake_in_America_1901-2017.pdf)



# 「サンフランシスコ、及びその近郊」で設立されたSAKE醸造所リスト

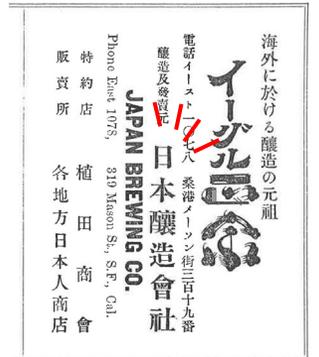
場所 location	社名* company name	存在期間、 あるいは、 清酒製造期 間 existing years	存在時期 existing period ◎ = 現在営業 operating			実際の住所 (判明してい る場合のみ) actual address	代表者 (判明して いる場合の み) representa tive	銘柄 (判明してい る場合のみ) brand name	備考 notes
			禁酒法ま で before Prohibition	禁酒法後 ～戦前 after Prohibition to WWII	戦後 after WWII				
Berkeley CA バークレー、CA州	★ Japan Brewing Co. 日本醸造会社	1901年6 月10日～ 1907・8年 ごろ	●			San Pablo Av. & University Av. 1907年に、 Emeryville (バ ークレーの隣の 街) に移動	副島八郎 (NS)	「白扇」(OT) 「イーグル正宗」 「辨天正宗」 (AD)	アメリカ初のサケ醸造の会社、1900年創業とす る文献(The Berkeley Legacy) もある / 副島八郎は、サンフランシスコの日系新聞「The New World (新世界)」の社長(NS) / 1904年にはサンフランシスコの207 Battery St.も会社住所としている (AB) / 1906年 にはサンフランシスコの319 Mason St.も会社住 所としている (ADと図3)
Oakland CA オークランド、CA州	★ San Jose Sake Brewery, Melrose Factory (サンノゼ醸造所のメルローズ分工場) (AB, AD)	1934年～ 1935年		●		5101, East 15th St. Melrose, Oakland		「大関」	サンノゼ酒造株式会社のメルローズ分工場 サンノゼにある同名の会社とは別子
San Francisco CA サンフランシスコ、CA州	★ Aiji Matsuo Brewery (マツオ・アイジ醸造所) は、 ★ Matsuo Sake Brewing Co. (マツオ 酒醸造会社) に引き継がれた	1934年～ 1937年 1937年～ 1941年		●		489 Bryant St. (AB)			(AU)
San Francisco CA サンフランシスコ、CA州	★ Katsuzo Shioji (シオジ・カツゾウ) はおそらく、 San Francisco Sake Brewery 桑港清 酒醸造(NH)に引き継がれた	1934年 1934年～ 1935年		●		342, 5th St. (AB)	藍野・塩路 藍路・塩 野? (NH)	「富士」「高砂」 (NH)	(AU, AB)
San Francisco CA サンフランシスコ、CA州	California Sake Brewery Co. 加州清酒醸造会社(NH)は、 ★ Nippon Sake Brewery Co., Inc. (日本酒醸造株式会社) に引き継がれた	1934年～ 1935年 1935年～ 1937年		●		432 Clay St. (AB)	三原常太郎	「国光」 「まさむね」 (NH) 「養老」	(AU, AB) 図9参照
Loomis CA ルームス、CA州	★ K. Igarashi Brewery (K.イガラシ醸造所) (AB)	1934年～ 1935年		●					Loomisはサクラメント近郊、現在の米国月桂冠 の北約20kmの街
Barkley CA バークレー、CA州	Numano Sake Company 又マノ・サケ・カンパニー	1977年 ～1983年			●	708, Addison St. Barkley CA	沼野武嗣	「甲州正宗」	現地の精米会社「パーミ」とともに設立 (OT) 設立は79年の記載もある (OT)
Barkley CA バークレー、CA州	Takara Sake USA Inc. タカラ・サケ USA	1983年～ 現在			◎	同上	オーナー： 沼野サケ・カンパ ニーからの「甲州 正宗」、ホノルル 酒造からの「宝 正宗」	「松竹梅」 沼野サケ・カンパ ニーからの「甲州 正宗」、ホノルル 酒造からの「宝 正宗」	1982年に沼野サケ・カンパニーを買収して、 1983年に Takara Sake USA Inc.に社名変 更 1986年にホノルル酒造を買収
Folsom CA フォルサム、CA州	Gekkeikan Sake (USA) Inc. 米国月桂冠	1989年～ 現在			◎	1136 Sibley Street, Folsom, CA	オーナー： 月桂冠	「月桂冠」	味の素、メルシャンも出資
Napa CA ナパ、CA州	Kohnan Inc. コーナン Inc.	1989年～ 2003年			●	One Exclusive way, Napa, CA	オーナー： 南九州コカ コーラ	「白山」	ワインのナパバレーの入り口にあった 南九州コカ の株主である本坊酒造の意向で設立

- アメリカで初めてSakeを製造した会社は、ハワイのホノルル日本酒醸造だと思っている方が多いが、じつはバークレーにあった Japan Brewing Co.という会社。他と違って、この会社は日本人移民が多く住む地域とは離れた場所に設立された。
- 以下は、「酒史研究」第32号2017年(酒史学会誌)に発表した「北米におけるサケ醸造の歴史－アメリカとカナダに存在したすべてのサケ醸造所のリストアップ」(喜多常夫)から抜粋。

「Japan Brewing Co.という会社が、1901年6月10日、サンフランシスコで登記されている。これは、ホノルル日本酒醸造会社(1908年9月3日登記)の7年以上前で、アメリカ合衆国初のサケ醸造所であるといえる。代表者は副島八郎で、アメリカ日本人会の会長であった。会社の所在地はバークレーで、University Av.とSan Pablo Av.の交差点。この場所にはその2年ほど前まで Hofburg Breweryというビール醸造所があり、ビール醸造のために掘った2つの井戸から良質の水が十分得られるのが、この場所を選択した理由のようである。」

「1905年までに、ジャパン・ブリューイング社のサケ生産は年9万ガロン程度(=約320KL、約1,800石)に達し、サケをハワイ、フィリピン、そして日本にも輸出した。」

「ジャパン・ブリューイング社の廃業の理由は販売面の行き詰まりではないのかもしれない。1907年11月、サケの醸造設備の購入代金、1,000ドルが未払いであるという訴訟が、ジャパン・ブリューイング社に対して起こされたが、これは大金で、会社を閉鎖に追い込むにたる金額である。また、のちにホノルル日本酒醸造の社長が、ジャパン・ブリューイング社の閉鎖は樽に使った木材にあった、と語っているようだ。ジャパン・ブリューイング社は、日本伝統の杉樽ではなく、アメリカンオークの樽を使用していたが、それがサケの酒質に悪影響があったというものである。」



1906年の「Japan Brewing Co.」の広告。表示の住所はSF市内の事務所。メイン319は、現在のニココホテルの斜め向かい。(出典:「在米日本人年鑑 第2号」)

- Japan Brewing Co.のあった、University Av.とSan Pablo Av.の交差点は、現在、宝Sake USAから至近で、UCバークレー大学からもほど近い。この交差点に、「かつてここに、アメリカ初のSake醸造所があった」という観光看板を設けたい、という希望を持っています。